

はじめての文学 村上春樹



[はじめての文学 村上春樹_ダウンロード1](#)

著者:[日] 村上春樹

出版者:文藝春秋

出版時間:2006年12月

装帧:

isbn:9784163598109

はじめて日本の現代小説にふれる若い読者のために

小説の面白さ、楽しさを味わうために、著者自身が用意したスペシャル・アンソロジー。はじめてのひとも、春樹ファンも欠かせない一冊。

【内容情報】（「BOOK」データベースより）

小説はこんなにおもしろい！ 文学の入り口に立つ若い読者へ向けた自選アンソロジー。

【目次】（「BOOK」データベースより）

シドニーのグリーン・ストリート／カンガルー日和／鏡／とんがり焼の盛衰／かいつぶり／踊る小人／鉛筆削り（あるいは幸運としての渡辺昇1）／タイム・マシーン（あるいは幸運としての渡辺昇2）／ドーナツ化／ことわざ／牛乳／インド屋さん／もしももしも／真っ赤な芥子／緑色の獣／沈黙／かえるくん、東京を救う

作者介绍:

村上春樹（ムラカミハルキ）

1949年、京都生まれ。早稲田大学演劇科卒業。1979年『風の歌を聴け』で群像新人賞を受賞、82年『羊をめぐる冒険』で野間文芸新人賞、85年『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』で谷崎潤一郎賞、96年『ねじまき鳥クロニクル』で読売文学賞、99年『約束された場所でunderground 2』で桑原武夫学芸賞を受ける。2006年、フランス・カフカ賞、フランク・オコナー国際短篇賞を受賞（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

目录:

[はじめての文学 村上春樹 下载链接1](#)

标签

村上春树

村上

日本

村上春樹

2014

评论

装帧很漂亮 不过选的短篇小说大多结构比较单纯 对于老读者不够味
虽然把目前已出版的村上所有中文版长篇中篇短篇小说都读了 不过是第一次读日文的
无论是读施小炜还是林少华的译文 果然还是和原作风味相差万里

看完的第一本日文原版，无脑五星

虽然是原版，不过毕竟不是第一次看村上春树了，多多少少还是能理解到写作背后的东西。确实还算挺有意思的小短篇吧。

[はじめての文学 村上春樹 下载链接1](#)

书评

[はじめての文学 村上春樹 下载链接1](#)